



日刊薬業

発行所

株式会社 薬業時報社

東京都千代田区西神田2-4

(西神田ビル)

電話(262)3511~9・0807(直通)

大阪支局

大阪市東区淡路町3の6船場ビル

電話(231)7162・8531~9番

購読料金 一ヵ月1,300円

振替東京23208番

(日刊、但し土・日曜日休刊)

昭和三十九年九月二十二日(火曜日) 第一五一五号

社保審健保部会、きよう非公式懇談会

健保赤字対策を検討

薬価問題にも波及？

社会保険審議会健康保険部会はきよう二十二日薬業健保会館で健康保険の赤字対策を検討するため非公式な懇談会を開く。厚生省は三十七年度以来、政管健保財政は赤字基調に転落し、昨年度は一三〇億八千万円という巨額に達したが、この最大の原因は薬剤費の増加によるものと分析していることから、これを契機に薬価基準価格の決め方を中心に保険薬価問題もかなりの論議を呼ぶものとみられる。

厚生省の調べによると甲表病院の入院患者一日当り診療費に占める薬剤費の割合は三十五年(五月調査、以下同じ)に一六%であったのが、三十六年に二一%、三十七年に二三・六%、三十八年に二五・八%と増加し、三十八年には九九一・四円のうち二五五・三円を占めるに至った。

また乙表をとる開業医の一般診療部門における薬剤費は三十五年五月の二五・九%が、三十六年には二九%、三十七年が三七%、三十八年は三九・九%と逐年増加した。したがって昨年は患者一人一日二四七・四円の診療費中に占める薬剤費は九八・七円に達している。

これを対前年伸び率でみると、入院では三十六年が対前年比四三%増、三十七年が三〇%増、三十八年が一五%増。乙表では三十六年の対前年比が二三%増、三十七年が四七%増、三十八年が二九%増となっており、増加する薬剤費対策に厚生省は頭を悩ましているのが現状である。とくに最近活性VB₁剤、解毒剤などが保険診療面で大幅な伸びを示しているが、抜本的な保険薬価対策が医療保険赤字対策の一環としてとりあげられる空気が強まってきたことは注目される。

表示が合法であること

薬務局 零売の法律解釈明示

十六日開かれた中央薬業安定協議会の席上、厚生省薬務局は、零売問題について「薬事法は積極的に禁止していないが、決して好ましい姿のものではない」と薬事法上の解釈ならびに考え方を次のように説明した。

① 零売（分割販売）行為は、配置販売業者、特例販売業者、また毒薬劇薬については一般販売業以外の販売業者はそれぞれ薬事法によって禁止されているが、これ以外については、薬事法は積極的に禁止していない②分割販売とは、求めに応じて通常の小売包装単位からその都度分割して販売することであり、予じめ分割する場合には小分け製造行為と見做され、医薬品製造業の許可を要する場合がある③分割販売を行なう場合、表示に関しては薬事法第五十四条の条件を具備することが必要である④すり替え販売（A商品の購買についての指名に対して、B商品をA商品として表示、販売すること）は、薬事法において無許可無承認医薬品として取扱われる⑤分割販売は、このような規制のもとに行なわれることについては禁止されていないが、積極的に奨励することではなく、決して好ましい姿のものではないと考える。

生産増の矛盾解決せよ

東友会の主張 制度品でも価格は乱れる

小売の経済団体の一つ東友会ボランタリーチェーン（会員約五〇）は、安定要綱関係への公取委調査と大メーカーの制度品商法化について小売店の立場から分析したものを公表した。制度品化についての小売集団による具体的意思表示はこれが初めてだけに注目されている。

その内容は、生産増によりメーカー間競争が激化したが、なおかつメーカーの利潤低下を防ぎ、増大を図るために安定要綱があり、再販、制度品化が行なわれている。制度品化によっても生産増の矛盾は解決できないだろうし、結局再販、制度品価格は維持出来ない性格のものである。というもので、再販契約、ノルマの制度品化の続出に対処するための新しい組織作りと、メーカーに対する①ノルマを廃止せよ②リベートを短期に出せ③共同仕入を認めよ、の運動展開の必要を説いている。

大正問題 三者会談開かる

大正問題をめぐる、薬務局代表、製企会代表、大正製薬代表の三者懇談会は、昨二十一日十時から銀座東急ホテルで開かれた。

(第三種郵便物認可)

業 薬

刊

日

昭和 39 年 9 月 22 日 (火)

(2)

(第三種郵便物認可)

業 業 薬

住友化学はこのほど米国バクスター社とわが国における総販売代理店としての契約をとりむすんだ。契約はバクスター社の全製品にわたるものであるが、試薬テストキット、医療器械人工腎臓、酵素製剤、プラスチック製血液バッグ、などの品目がある。このうちテストキットはこれまで三光純薬が米商社より購入して市販していたものであるが、住化の代理店契約により三光は住化よりこれの供給をうけることになっている。人工腎臓は手術時に活用されるもので、わが国ではこれまでに東大本外科、京大泌尿科、東京同愛病院、京都府立大泌尿科、長崎医大中央手術部などが使用している。住化としても受注活動を開始しており、すでに東京医科歯科大から引き合いがあり、その他病院でも関心をよせているという。住化販売のための現物輸入は十月下旬ごろになるようだが、同社では年内中には一〇台程度は販売できようとしている。価格は一台一二〇〜三〇万円といったところ。そのほか酵素製剤、血液バッグについても発売検討中である。

日本化薬 「ス キ ャ ッ ト」 新 発 売

日本化薬はこのほど二日酔剤「スキャット」を東京向け新発売した。本剤は水に溶かしてのむ発泡顆粒で一包中アセチルサリチル酸五〇〇mg、ビタミンC(アスコルビン酸)五〇mg、無水カフェイン五〇mg、クエン酸一二〇〇mg、重炭酸水素ナトリウム一六〇〇mgの各成分を含有する。適応症は二日酔のほか頭痛、生理痛、感冒などにも効き、一回分宛。パッケージされているので携帯に便利。包装並びに価格は三包入A価一八〇円、B価一三五円。一八包入A価九〇〇円、B価六七五円。なお、本品は定価維持品で地方向け発売は十月一日から。

ロブリン博士 (ACC副社長) 来日 アメリカン・サイアナミッド社 (ACC) の

研究・開発担当副社長リチャード・O・ロブリン博士は、このほど日本の一流工業科学者と懇談のため夫人同伴で来日した。なお同博士は二週間にわたって滞日の予定である。

(3) 昭和 39 年 9 月 22 日 (火)

薬経研十月八日移転 薬業経済研究所は、東京クラブビル(三十日完成)の四階に十月八日移転し、十二日から業務を開始する。住所、東京都千代田区霞ヶ関三の四、電話五八〇局、〇八七一〜三。

局方外医薬品製造許可承認品目

(印は特審品目)

九月十一日(統) ▽シービーエムH注射液、ピノーカ

プセル(小野薬品)▽アスベイン、同錠(丸石製

薬)▽ワダカルベビーオイル(ワダカルシウム製

薬)▽エキス加当芍散、同乙字湯顆粒(和協製薬)

▼ワカバロン(アスト製薬—大阪)▽トコロール注

射液(大五養化学)

九月十二日 ▼スキット(日本化学)

九月十五日 ▽枸杞八宝酒薬用酒(枸杞の友社)▽源

田膏薬(松田製薬—秋田)▼コルニットカプセル

(ヤシマ化学)▽強力トリコシン、コリトラン(関

東医師製薬)▽ウロピリジン錠(富士カプセル—静

岡)▼リン酸ピリドキサミン注三〇昭(エーザイ)

▽キルコート・エロゾールS(第一薬品産業—東

京)▽同(東洋エアゾール工業)▼スルピノール

(シヨウワ)、プロムザルビラ(〃)(昭和製薬

—神奈川)▼アルコピンアンブル内服液(カイゲン

化工)▽リン酸ピリドキサル注「三研」三〇昭

(三和化学研究所)▼オペラギン糖衣錠、アーツエ

ー錠(マルコ製薬)▼ロダン液、スパケロツクスB

液(辰巳化学)▼セナン錠(協和薬品工業)▽ノス

ポールA内服液(協和薬品工業)▽強力エスグッ

ト、ママボボ(東宝製薬—岐阜)

注目特許出願公告

(七月二十五日付—統)

▽五—(ベータメチルメルカプトエチル)—ヒダントインの連続的製造法 住友化

学。昭三九—一四六八八。本発明は、ベータメチルメルカプトプロピオンアルデヒド

のシアンヒドリンと重炭酸アンモニウムまたは炭酸アンモニウムとを含有する水性分

散液を加圧下一〇〇度Cから二〇〇度Cの反応帯域に連続的に圧入流入させ、該温度

で短時間反応を行なわせることを特徴とする五—(ベータメチルメルカプトエチル)

—ヒダントインの連続的製造法である。この方法により製造される物質は、メチオニ

ン製造の中間体である。

▽環状アミドまたはその塩の製法 チバ。同一四六八九。本発明は、二—アルケニ

ル—三、四—ジヒドロ—一、二、四—ベンゾチアジアジン—一、一—ジオキドの製造

に関するものである。この新規物質は、利尿及びナトリウム排泄作用をもち医薬とし

て使用できる。

△製薬株式相場(東京) 九月二十一日終値(△高、▲安、○保含) 大商証券提供

銘柄	終値	前日	比
共田内滝一本義	176	▲	22
富沢と臓有外	207	▲	11
化リイト化	139	▲	11
醸薬菓	80	▲	11
薬学堂	121	▲	11
丹タ化	112	▲	11
光成	100	▲	11
薬田	143	▲	11
品キ	61	▲	11
正	118	▲	11
製	229	▲	11
薬	137	▲	11
ラ	89	▲	11
	208	▲	11
	308	▲	11
	87	▲	11
	83	▲	11
	160	▲	11
	220	▲	11
	80	▲	11
	137	▲	11
	1150	▲	11
	99	▲	11
	128	▲	11
	78	▲	11
	170	▲	11
	840	▲	11
	182	▲	11

銘柄 三武山中第大塩田吉藤わ帝万中科みエロ住協日明ニ日富和仁理日久東有科持小イ大参フ